

鳥取県地震

2025年（令和7年）9月

鳥取地方気象台

目次

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動	
震央分布図及び断面図、概況	1
震源リスト（M2.0以上）	1
(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震	1
(3) 地震・津波の知識	
11月5日は「津波防災の日」・「世界津波の日」	2

- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

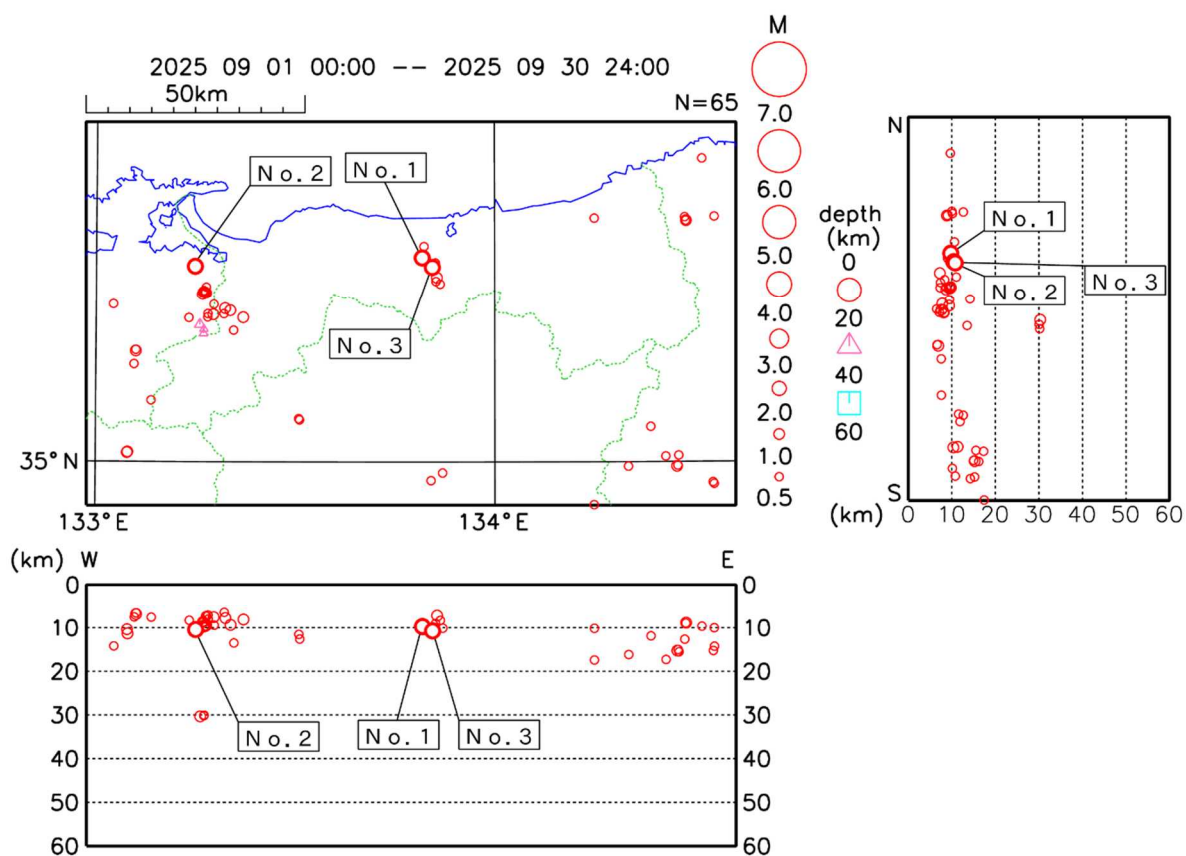
- 本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがあります。

* 広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。

大阪管内地震活動図URL https://www.data.jma.go.jp/osaka/jishinkazan/divos_monthly.html

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動

[震央分布図・断面図]



[概 況]

2025年9月に鳥取県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震はありませんでした（前月は2回）。

上記震央分布図内において、M2.0以上の地震は3回（前月は5回）でした（番号は震源リストに対応）。

[震源リスト(震央分布図内のM2.0以上の震源リスト)]

No.	発震時(年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	マグニチュード	最大震度
1	2025年09月13日12時51分	鳥取県中部	35° 25.2' N	133° 49.0' E	10	2.2	-
2	2025年09月22日16時39分	島根県東部	35° 24.1' N	133° 14.8' E	10	2.3	-
3	2025年09月29日09時07分	鳥取県中部	35° 24.0' N	133° 50.6' E	11	2.2	-

(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震

2025年9月に鳥取県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震はありませんでした。

(3) 地震・津波の知識

11月5日は「津波防災の日」・「世界津波の日」

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震では、太平洋沿岸を襲った津波によって多くの人命が失われました。これを受けて、平成23年(2011年)6月に津波から国民の生命を守ることを目的に「津波対策の推進に関する法律」が制定され、その中で毎年11月5日が「津波防災の日」と決められています。また、平成27年(2015年)12月の国連総会で日本をはじめ世界142か国が共に提案し、11月5日が「世界津波の日」と制定されました。

この日は安政元年(1854年)の安政南海地震で和歌山県を津波が襲った際の「稲むらの火」の逸話にちなんでいます。「稲むらの火」は、濱口梧陵が安政南海地震発生後の暗闇の中、津波から逃げ遅れた人たちを、稲に火を付けて高台に導き救った実話をヒントに、島根県ゆかりの文学者でありNHKの連続テレビ小説「ばけばけ」の主人公の夫のモデルである小泉八雲ことラフカディオ・ハーンが著した「A Living God(生き神様)」を、中井常蔵が小学生にも分かる短い作品としたもので、不朽の防災教材として今も語り継がれています。

この日を中心に津波対策について国民の理解と関心を高めるため、全国各地で防災訓練やシンポジウム等が開催されています。いつ起こるか分からない地震や津波から命を守るために何が必要かをあらためて考え、行動する日にしましょう。

(参考ホームページ)

○気象庁ホームページ「津波から身を守るために」

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami_bosai/index.html

○内閣府ホームページ「津波防災特設サイト」

<https://tsunamibousai.jp/>

○「稲むらの火」について

・稲むらの火の館ホームページ

<https://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamuranohi/>

・気象庁ホームページ「稲むらの火」

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami/inamura/p5.html>

11月5日(水) 緊急地震速報の訓練を行います ～自分の命を守るためにご参加ください～

地震による揺れから身を守ることが、地震・津波防災の第一歩です。緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでのごく短時間に、慌てずに身を守るなど適切な行動をとるためには、訓練を通して実際に行動しておくことが重要です。このため、内閣府、消防庁及び気象庁は、平成20年度より年2回、緊急地震速報を見聞きした際の行動を確認するための全国的な訓練を、国の機関や地方公共団体、学校、民間企業ほか、個人に対しても幅広く呼びかけて実施しています。

今年度2回目の訓練は、「津波防災の日」・「世界津波の日」の取組の一環として、**令和7年11月5日(水)に実施**します。訓練の詳細は下記URLをご確認ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/eew/kunren/2025/kunren.html>

そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和7年9月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

URL <https://www.data.jma.go.jp/egev/data/gaikyo/>

問い合わせ先：鳥取地方気象台

TEL：0857－29－1313